

普濟寺 Fusaiji

普濟寺は、山号広沢山(こうたくさん)と号する曹洞宗の寺です。寒巖義尹(かんばんぎいん 1217 年～1300 年)の開山により創建されたと伝えられていますが、実際にこの寺が創建されたのは吉良氏の開基により華蔵義曇(けぞうぎどん 1375 年～1455 年)が現在の浜松市寺島の地に建立した随縁寺に始まり、1432 年(永享 4 年)現在の場所に移され普濟寺と号しました。



本堂

普濟寺は、由緒ある寺として徳川氏の保護をうけ、また江戸幕府から(所領確定の)朱印状が与えられました。

三方ヶ原合戦当時、浜松城が炎上したかのように見せかけるため、戦略上家康の命令で火が放たれました。1582 年(天正 10 年)に七堂伽藍が再建されたが、これも 1897 年(明治 30 年)火災に遭い、その建物も 1945 年(昭和 20 年)戦災のため焼失しました。その後 1964 年(昭和 39 年)に再建されました。

普濟寺の総門は、井伊三人衆のうちの気賀近藤氏の金指陣屋門を移築した門といわれています。寺域は広く、亀山天皇から賜った「東海曹洞」の扁額のある江戸時代に建立された山門と、昔は広沢の名にふさわしく水の澄んだ池があり、月の名所としても知られたが、今は(県内最古の石造りの橋の)雲夢橋(うんぼうきょう)が残るのみです。



総門



山門と雲夢橋



北山稲荷

山内に稲荷社「北山稲荷」が祀られています。寒巖義尹大和尚の生まれが京都の北山ですので「北山稲荷」なのだそうです。日本三大稲荷の一つに数えられている愛知県豊川市の豊川稲荷は、普濟寺の末寺になります。豊川稲荷はこの北山稲荷から分祀されました。(日本三大稲荷は、伏見稲荷大社(京都市)、祐徳稲荷神社(佐賀県)、そして豊川稲荷(愛知県)の三社です。)華蔵義曇和尚の弟子が開いた寺は多くあり、浜松市内には西来院(広沢)、宗源院(蜷塚)、天林寺(下池川)、宿薦寺(庄内)があります。

奥に、奥の院として寒巖義尹法王禅師霊廟が有り、霊廟の横に、華蔵義曇とその師の梅巖義東(ばいがんぎとう)の無縫塔が守るが如く安置されています。

Fusaiji (temple)

A famous temple of the Sotoshu sect in the Totomi region (around Hamamatsu) that has about 600 years of history.

All but one portion of the temple was fired and burned by the Lord Ieyasu's order, in order to give enemy a fake information like that Hamamatsu castle were burning, and saved the castle, in time of Mikatagahara battle.

Including it, Lords kept to cherish this temple very importantly.

This temple is the parent position for the more famous Toyokawa Inari temple.

アクセス

浜松駅から「館山寺」行などのバス乗車 8 分

「鹿谷町南」下車、徒歩数分

(浜松駅方面は「美術館」バス停で乗車)



普濟寺 〒432-8013

浜松市中区広沢 1 丁目 2 - 1
電話番号 053-452-1541

浜松観光ボランティアガイドの会

ホームページ <http://www.hama-svg.jp/>

メール mail@hama-svg.jp

電話/FAX 053-456-1303

